

議会報告会報告書

開催日時	平成 30 年 11 月 14 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 25 分		
開催場所	東部中学校 図書室（2 階）		
出席議員	大平 勇、松本一孝、市野幸男、楠谷さゆり、西口真理、海住恒幸、中島清晴		
	司会進行者	海住恒幸	
	報告者	西口真理	
	記録者	松本一孝 市野幸男	
参加人数	19 名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 中島 清晴 様

平成 30 年 11 月 14 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 2 班

代表者 大平 勇

【第一部の主な質疑応答・意見等】

問 ふるさと納税では、7800万円税収が減ったということか。

答 市外に税金を納め控除された額であり減ってはいるものの、逆に入ってきている税もある。是非松阪に全国から納税をしていただきたく思っている。

問 東黒部地域の通学路では朝夕、渋滞を回避するための車両が速度超過で進入してくる、地域の関係者が通学路に立ち、運転者に注意喚起しているが効果がない、地域関係者だけでは限界があり行政側でどうにかならないか。

答 ・市議会としては即答できないので関係部署につたえる。

- ・参考として、農道の入り口両側に大きな注意看板を立て、進入してくる車両に対し地域関係者や警察と連携し注意喚起をしている。
- ・信号をつけたらという事例で、子供達が信号を待つスペースがなければ車両に巻き込まれる危険があり、信号がつけられないということもある。
- ・地域で特徴があり、市長と教育長も課題として取り組んでいると思う。

意見 舗装をしていない農道の道を綺麗に舗装したら、交通量が増えた。運転手のマナーの問題であり規制をするのであれば、厳しい規制をかけなければならないと思う。規制等考えてほしい。

問 広瀬町は若者が帰郷し子供が増えていると聞くが要因は何か。

答 住民協議会ができてから、その地区では子供を行事に誘うことに力を入れ子供達を大切にしている。地域での繋がりが郷土愛を育み、そういった事が要因ではないかと思われる。

問 防災と避難のことで、先般の台風で停電があった、また地震になると電柱等の倒壊で避難路となる道がふさがれ避難が困難となる、安心して通れる避難路の想定を行政側で作ることはできないか。

答 台風では避難勧告が出たときに避難をするのが一番良いが、タイミングが難しい、台風が最大であるときに避難をすると誘導する側も危険であり、そのまま家屋等で待機するのが望ましい。地域それぞれに特徴があり、地域を知る方々が課題として考えるほうが良いのではないかと思う。

問 地震等による津波の心配もあり避難タワーも早急にお願いしたい。

答 松名瀬は避難困難地域になっており、避難タワーも作る事で進んでいる。

意見 市が発行する地図をもっと分かりやすく工夫して欲しい。

問 議会で今いちばん問題だと思っているのは何か。

答 百条委員会、地域医療構想等いろいろあるが、議会改革がいちばんではないかと思う。